

1. 当四半期決算に関する定性的情報 定性的情報 定性的情報 定性的情報 定性的情報 定性的 萬

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、期間終盤には円高の是正や経済対策の効果を背景に回復が期待される状況となりましたが、期間を通しては、欧州諸国の債務危機問題に伴う経済減速や中国経済の成長率鈍化など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、従来からの収益改善策である「鉄源の多様化と規格構成の見直し」、「電気炉材の適用拡大」、「中高級鋼の拡販」、「コスト削減」などに全社をあげて取り組むとともに、早期に収益基盤を構築するために抜本的収益改善計画を鋭意検討し、実行できるものから既に取り組みを開始してまいりました。

その一環として、当社の厚板工場を平成24年7月25日に休止し、厚板の製造を新日鐵住金株式会社殿に委託することにより、従来どおりの営業体制の下で販売を継続しております。また、200名規模の人員削減施策につきましては、当第3四半期連結会計期間末までに希枕者で翠期間のの

女觚 𠄎葳 𠄎居蝕 𠄎体獅翠萑 の人

) 愛夢 銚圭 ヲ悦鈿鯨の厭継続嘗 牟討、甫伴奔翠ズズ憐 兪へ 匱文 裳わカ言酋 榆蘊州販互 h告
で従来どおる 萑谿太伴奔俎末艶その一環ヲ悦鈿鯨8ヲ鐵獨会計 だ 区榛 雷翠 殖 きと む捶 𠄎居

4 . 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成24年3月31日)

当第3四半期連結会計期間

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

報告セグメント

告セ敷月曠劬

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

